

会議の概要(議事録)

| | | | | |
|---------------|--|----------------------|----|--|
| 会議の名称 | (番号) 3-08 | 平成25年度第2回すみだ環境共創区民会議 | | |
| 開催日時 | 平成25年5月16日(木) 18時30分から20時05分まで | | | |
| 開催場所 | 墨田区役所3階 31会議室 | | | |
| 出席者数 | <p>【委員17人】 阿久沢委員 池田委員 伊藤委員 宇田川委員 笠貫委員 久保田委員 小木曾委員 佐野委員 島崎委員 清水委員 永岡委員 野島委員 本間委員 松本委員 森下会長 柳委員 横井委員</p> <p>【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p> | | | |
| 会議の公開 (傍聴) | 公開(傍聴できる) | 傍聴者数 | 0名 | |
| 議 題 | 1 すみだ環境共創区民会議 平成25年度年間計画について 2 その他 | | | |
| 配付資料 | 1 すみだ環境共創区民会議 平成25・26年度年間計画(案1) 2 すみだ環境共創区民会議 平成25年度年度計画(案2) | | | |
| 会議概要 | <p>1. 平成25年度年間計画について(事務局からの説明:資料1・2参照) 平成25年度年間計画については、前回の定例会において検討いただきましたが、次回に持ち越しとなりました。そこで、その後、5名の委員の方から提案・意見等をいただきましたので、それを参考に事務局(案1)・(案2)を作成いたしました。</p> <p>まず、項目としては、課題を探るための勉強会を3回、それに伴う調査等のための見学会を2回、見学会での調査を踏まえてまとめ作業として勉強会を3回、最後に中間の取りまとめを2回という計画案です。勉強会の具体的な検討項目としては、自然環境に関する事項の緑化、生物、雨水など、資源やエネルギーに関する事項等が考えられます。検討項目数は3つ程度を想定しています。</p> <p>そこで、今後の定例会の運営方法としては、案1では、毎回同じ項目について検討をしていきます。検討は、3グループ程度に別れてグループ討議を行い、各グループの話し合いの結果を、全体会に報告し、意見交換を行います。1時間30分の会議時間の前半の1時間程度をグループで話し合いを行い、残りの時間でその検討結果を報告し、意見交換を行います。それを3回繰り返します。</p> <p>案2では、始めにグループ分けを行い、各グループが同じ項目について検討を3回継続します。会議の運営方法は同じで、グループ討議と全体会を行い、意見交換を行います。その検討の中で、調査のための見学先、スケジュール等の検討を行い、事務局でその調整を行い、見学会を実施していきます。その後、見学会での意見等を踏まえ、中間のまとめ作業を行います。その際、専門家の意見等を聞く事も考えられます。次に、平成26年度の計画については、案1として作成はしておりますが、25年度の中</p> | | | |

間のまとめの作業状況、その成果の発表会を別途、設定するか等により状況が変わってきます。欄外にあります成果発表会、その準備、提案の取りまとめ、すみだまつりの準備、平成 25 年度検討課題から実践活動の検討等が、26 年度の計画に落とし込まれてくるかと思えます。26 年度の計画については、25 年度末に再度、その状況により検討を行っていくことと思えます。

以上、事務局(案)として提案させていただきますので、ご検討をお願いします。

2. 意見交換等における主な意見

事務局から案 1・2 が提案された。案 1 でも勉強会はグループ分けをするのか。

案 1 の勉強会についても、3 つ程度のグループ分けをして、毎回同じ項目についてグループ討議をして、全体会へ報告、意見交換を想定している。会議の運営方法は、案 1・2 と同じ方法を想定している。

過去に寄せられた意見等に、区民会議の活動として、勉強、実践、発信等が一番多かったので、計画の中に勉強会が 6 回あるのだと思う。次に、環境ふれあい館の問題、スカイツリーの活用、墨田の環境を正しく把握する等の意見が出されている。そこで、勉強会を柱に委員の意見を汲み上げ、来年度の計画を作っていくのではないかと思う。

案 1・2 の勉強会 ～ は、記載内容が違うが、何を行うのか。

勉強会 ～ の記載内容が案 1・2 で違っているが、想定している内容は同じです。勉強会 ～ を行い、調査等のため見学会を踏まえ、必要であれば課題を洗い直し、まとめの作業として、勉強会 ～ を想定しています。

委員から、今年度、来年度の区の環境政策に関するスケジュールを教えてほしいという意見が出されている。

前期では、すみだ環境の共創プランの改定が行われ、区民会議の中で、多くの時間を割いて、意見を伺うことがあった。しかし、今年度については、計画等の改定の予定はありません。

そういう話ではなく、今年度に行う事業について、そのスケジュールを教えてほしいと言っている。

補足ですが、委員の意見は、スケジュールを教えてほしいということで、その時々タイミングで、区民会議で検討するのがベストではないかと、理解していた。しかし、通年事業で行っているものが多い。

事業のスケジュール等を踏まえて、検討することが決まってくるのではないかと。25・26 年度に改定等の予定がないということだが、仮に 27 年度に改定の予定があると、いざ改定のタイミングでは間に合なくなる。区民会議としては、改定の前に検討を行いたい。計画等の改定のスケジュールを出してほしい。

計画等の改定のスケジュールが必要ということであれば、次回、用意する。

区民会議で何を検討するかは、区民会議で決めること。そのために、計画等の改定のスケジュール、環境の行事・イベント等の情報を出してほしい。

各論から入っていくと取りまとめが難しい。総論から入り、区民会議としてテーマをどうするか、何を指すのか、きちんと共有化することが大切となる。墨田区には環境区宣言があり、具体的に何をするのか行動指針まで書かれている。また、すみだ環境の

共創プランが改定され、それらをベースに、墨田区が何を目指し、それに対してどういう方法で事業を進めているのかを理解したうえで、この会議を進めていかなければいけない。委員の方はそれぞれ専門家として会議に参加している。3つの主体である行政・事業者・区民として、現状を報告し、現実を把握して、何をしていくかを考えていかなければ、方向性は定まらない。そのベースとなるすみだ環境の共創プランを委員が理解していなければ、中々前に進むことはできない。

年間計画案には勉強会が3回あるが、すみだ環境の共創プランを勉強するのか。

すみだ環境の共創プランを委員全員が理解することが大前提となる。名称は勉強会でも説明会でも構わないが、プランの中身で環境に関して提案ができるもの等について勉強をすることが、勉強会だと理解している。

区民会議で検討したことは、区の事業に変更等の影響を与えたり、施策に取り入れられたり、反映されるのか。そうでなければ、絵に描いた餅になってしまう。区で決められたスケジュールでは良くない。委員の提案にあるスケジュールを教えてほしいということも、検討したことが、区の事業に反映させるためのことだと思う。

細かい年度のスケジュールは各論である。それよりも、すみだ環境の共創プランの改定に意見具申をすることが、区民会議の役割だと思う。

すみだ環境の共創プランの勉強会について、例えば興味・関心のある事項について、プランにはどう載っているのかを調べ、欠けている点やこうした方が良いのではないかなど考えをまとめ、次回の改定に反映させるのも、勉強会の一つの切り口かと思う。

年間計画について事務局から案1・2が提案されているが、任期2年間で達成感のある計画にしていきたいと考えています。その他、意見や提案がありましたらお願いします。

年間計画を考えるには、総論から入り、足並みを揃えて各論に入った方が良い。提案された案は各論なので、次回の6月は基本を共有し、各グループの活動の話聞く。そうすれば、7月の会議に繋がっていく。全体像が見えないうちはグループ分けは行わない方が良い。

新任の委員の方もいるので、初めは同じ方向を向くため、グループ分けはしない方が良い。

6月から8月は、全体で行う。その後、3年・5年先に改定等があれば、9月以降に検討を行えば良い。グループ分けについても、9月以降に再度、検討を行えば良い。

全員で課題を見つけ、その後、必要があれば分科会という方向で進んでいけば良い。

方法論としては、それぞれやり方があり、メリット、デメリットはあると思う。それよりも、委員等から意見が出された最終的なゴールについては、早めに決めた方が良い。

目標は早めに、しっかり決めた方が良い。その中から、課題等が出てくるので、目標を決めた方が良い。

前期、委員の方から良い意見が出されたが、区から回答がなかった。また、同じような話合いを行うと思うと、もったいないと思う。

前期、提案したことに回答がなかったことは、大変不満に思っている。そのことは、この会議の大きな欠点だと思う。

小さい規模でも、区民会議でP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)サイクルが計画・立案できれば良い。今後、区民会議で皆さんとできればと思っている。

墨田区環境審議会では、環境保全課の次年度の事業計画についての資料が出されるが、区民会議にも資料を出すことはできないか。

来年度の事業計画の資料について区民会議に出すことはやぶさかではない。

すみだ環境の共創プランをもっと区民の方に周知することが必要だと思う。

委員の言われたことは、区民会議の一番大きな目標だと思う。会長から達成感のある計画と言うことがあった。達成感とは、目標があって、それに対してどこまでできたのかと言うこと。目に見えることが大事だと思う。具体的にプランや環境区宣言等の周知のため、手段としてすみだまつりを活用することも大事なことだと思う。そのため、我々が目標をしっかり持ち、具体的にどう活かしていくか明確にしていくことが大切だと思う。

質問ですが、区民会議は、私達が何か目標を決めてやっていく会議なのか。それとも、区が私達にどうしてほしいのか。何を求め、期待する物があるのか。その辺を聞きたい。

区が皆さんにこうしてほしい、という注文をする会議ではありません。区民会議で検討したことを、区はできるだけ実現するために努力をします。区は皆さんに意見をまとめ上げていただくことを期待しています。

前期で、区民会議で取りまとめた意見で実現されたことはあるのか。

要望的な小さな意見もあれば、大きな規模になると、その意見だけで政策等を決定する訳にはいかず、参考にさせていただくこともある。その他、墨田区環境審議会等もあるので、その意見等も参考にさせていただいている。

2年間の活動の成果が、少しでも区の政策に反映されたならば、今後の活動の励みになる。

区民会議の2年間のまとめとして、最後に活動報告書を作成する。提言としてまとめるためには、最終ゴールを決めないとまとめきれない。最終ゴールを決めないと、個人の意見や要望を取りまとめたものになってしまう。これからの話合いの中で、提言しえることができたなら最高だが、いままではできなかった。

これまで区民会議で行ってきたことは、家庭での省エネ生活の取組み、緑のカーテン、打ち水、CO2 ダイエット等がある。しかし、毎年参加者が少なく、達成感が感じられなかった。今期は満足度のある目標を決めていきたい。

意見・要望に対して回答がない。意見・要望が通らなくても、回答がほしい。

墨田区としては、区的环境を良くしたい、良くしてほしいということが、委員が求められている最終ゴールだと思う。区民会議では、墨田区的环境を良くするためには何をしたら良いかを考えていかなければいけない。委員や委員から出された意見に賛成です。すみだ環境の共創プランを区民等に浸透させ、実現できれば、墨田区的环境は良くなるということだと思う。そのために、どのようにして区民・事業者等にプランを浸透させていくのか、案を出していくことが、区民会議の役割だと思う。最終目標と

しては、区民等にすみだ環境の共創プランを浸透させることではないかと思う。先程、PDCAの意見が出ましたが、果たして区民会議のPDCAはうまく回っていたのか、疑問に思っている。最終目標が共有されていないことが問題で、今年は最終目標を共有することができれば、改善することができる。そこで、最終目標として、区民等にすみだ環境の共創プランを浸透させていくことを、提案したい。

私は昨年1年間、区の委員会の委員を務めた。役所に対して期待は薄いと感じた。あくまで、参考意見として聞いて貰うに過ぎないが、発信していかなければ変化はない。終の棲家としての墨田区を少しでも良くしていきたい。自分が広告塔になって、区民の方に一つでも墨田区のことを誇れるよう発信していきたい。

区民会議は難しい問題を扱う会議で、任期の2年間は短いのではないかと感じている。私はリサイクルの会に参加している1主婦ですので、ごみの出し方や「もったいない」というようなスケールの小さい話になってしまう。先日、中央防波堤にあるペットボトルの処理施設を見学した。杉並区や中野区に比べ、墨田区のペットボトルのペールはラベルが付いたままの物が多かった。他区に比べ墨田区民の意識の低さを感じ、とてもがっかりした。それから、自宅の近くの集積場にペットボトルを出すときは、集められたペットボトルのラベルを剥がしているが、とても時間が掛かる。ペットボトルを出すときは、ラベルを剥がすよう周知してほしいと、清掃事務所の職員の方に相談したが、一向に変わっていない。区民会議でスケールの大きな話をするのも大事だが、区民のリサイクルの意識は低いという問題も、大事なことの一つだと思う。

ごみといえば、清掃事務所では「すみだの資源物とごみの分け方・出し方」のパンフレットを、今回は英語・中国語・韓国語版を併せて作成した。既に、お手元に届いていると思いますが、お持ちでない方がいましたら、清掃事務所で受け取ることができますので、周知願います。また、外国語版については、戸別配付はせず、清掃事務所等で受け取ることができますので、こちらの方も周知をお願いします。

すみだ環境の共創プラン・すみだ環境区宣言には、生活に密着した内容が豊富に書かれていて、幅が広すぎる。区民会議で扱うには、ポイントを絞って、幾つかピックアップして取り組んでいかないと対応しきれない。私は緑と花の学習園に関係しているが、墨田区もきれいになった、変わったと、聞くようになった。植えられている花の名前が分かると、より親近感が湧いてくるということで、今後、花の名前をつけるよう、花と緑の学習園で提案していきたい。

公園の樹木版は少しずつ付くようになってきたが、草花についても名前が分からないので、表示版の設置をお願いしたい。

一過性のものについては、名前を残すことは中々難しい。納入された花には、花の名前が付いてくるので、それをうまく利用するとか、カードを貼れるような物を工夫するとか、できれば対応していきたいと思っている。

1年草は1年でだめになってしまう。対応するサポーターは、人数が少なく、皆、無料奉仕でがんばっている。

先程、ペットボトルのラベルの話ができました。墨田区は、剥がしたラベルは焼却ごみになりますが半分以上の区では、資源として回収しています。それらの区では、早い時期からプラスチックのリサイクルということで、分別の指導が行われています。墨田区

の分別の仕組みは、23 区の中で遅れている。何年前か前、リサイクル清掃課で墨田区一般廃棄物処理基本計画の見直しが行われた際、容器包装リサイクルへの取り組みを計画に盛り込むように提案をしたが、改定に盛り込まれなかった。次回の計画の見直しで、是非、容器包装リサイクルへの取組みが計画に盛り込まれるよう、清掃事業についても勉強をしていただきたいと思います。計画に盛り込まれない理由を尋ねたら、区民の声がないからということだった。その後、6 年ぐらい声を上げ続けている。そのことがきっかけで、区民会議に参加するようになりました。

分別せずにプラスチックを燃やすごみにしている訳は、清掃工場の炉をだめにしないためだと、私は認識していた。

清掃工場の炉を駄目にしないためではなく、連続運転をするため、ごみが足らなくなるようにするためです。

先程、基本計画等の見直し・改定の話がありました。前期はすみだ環境の共創プランの改訂がありました。年間スケジュールの件ですが、今期も計画等の見直し等があるかと思うので、検討課題に入れていただきたい。墨田区の環境についての最優先課題等を、目標にすれば良い。目標は有った方が良い。

区の環境政策に関するスケジュールを確認したら、見直し・改定等の予定はないとのことだった。

いままでは、すみだ環境基本計画の改定等の大きな目標があった。今期は改定等がないということで、意見等をまとめて提案等ができる会議にしていかなければいけない。そこで、先ず半年で、区でどんな政策が行われ、どんな課題が有るのかを勉強し、その後半年で、その課題について意見を出し合う。その後、墨田区の環境をよくするための提案をしてはどうか。提案については、必ずフィードバックをしてほしい。双方向の会議にしていきたい。

年間計画について、皆さんから意見をいただきました。事務局でまとめ、次回の会議にお示ししたいと思います。

平成 25 年度年間計画は、案 1 を基本に、6 月から 8 月は、すみだ環境の共創プランをベースに意見を出し合えば、9 月のすみだ環境の共創プラン<改定版>進捗状況評価に繋がる。共通のテーブルに着けると思う。並行して区民会議の個々の目標・目的を提案いただき、それを踏まえ、11 月から考え直すということではいかがでしょうか。

(各委員から賛成・同意の拍手)

副会長にまとめていただきましたので、その方向でいきたいと思います。

3. その他、情報提供等

グレートジャーニー人類の旅について(関野吉晴氏)

国立科学博物館にて 6 月 9 日まで開催。

4 月 20 日(土)実施のスポーツ GOM 拾い大会(オリナス)について

すみだ環境共創区民会議チームとして参加し、見事優勝。(委員、 委員)

東京ミッドタウンにて「未来を変えるデザイン展」を 6 月 11 日まで開催。

所 管 課

区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463